

新型コロナウイルスの注目すべき変異株（VOI）

	主な変異	概要	参考※
R.1 E484Kがある変異株	E484K	<ul style="list-style-type: none">国内で海外から移入したとみられるが起源不明感染性に影響を与える可能性がある変異は認められない現在日本で使用されているワクチンの効果を完全に無効化するものとは考えにくい引き続き、ゲノムサーベイランスを通じて実態を把握	国内4,483例、 検疫5例確認 (5/10時点)
B.1.427/B.1.429 米国で最初に検出された変異株	L452R	<ul style="list-style-type: none">2割程度の感染性の増加と治療薬（抗体医薬）の効果への影響が示唆されている引き続き、ゲノムサーベイランスを通じて実態を把握	国内2例、検 疫25例確認 (5/10時点)

※国立感染症研究所の全ゲノム解析による確認数

(出典)感染・伝播性の増加や抗原性の変化が懸念される 新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）の新規変異株について（第8報）4/17（国立感染症研究所）
(参考)変異株の括弧内の系統名は、新型コロナウイルスに関して用いられている分類方法であるPangolinによる分子系統 IDによる分類系統名。